

キャンパスレポート

田本貴稔

経済学部 国際経済学科 三回
カナダ プリンスエドワードアイランド大学

☆留学先大学について

大学は赤毛のアンで有名なプリンスエドワード島にあり、一応総合大学ですが規模的には学生の数はあまり多くありません。しかしながら、比較的少人数で授業が開講されており、教授と学生の距離が近いという学生にとってのメリットがあります。特徴としては大学に隣接してジム、スイミングプール、スケートリンクなどのスポーツ施設が充実しており、学生は無料で利用できます。また、プリンスエドワード島は赤毛のアンで有名な観光地で夏は観光業が盛んで、大学側も無料の日帰りツアーを学生のために組んでくれたこともありました。

☆気候や街の様子

私は九月にこの地に降り立ったのですが、その時は気温も適温で比較的過ごしやすい気候だなと考えていたのですが、カナダの冬を侮っていました。11月ごろからかなり寒くなり始めます。また、詳しくはわからないのですが、PEIは冬でも日によって気温差が激しいと個人的に感じます。それに加え、日によって雪がかなり積もります。しばしば雪の影響で学校が休校になることがあります。

バスで10分ほど行ったところにダウンタウンがあり、いろんなお店が集まっている通りなどがあつたりしますが、総じてかなり田舎の地域だといえます。その割にはスーパーマーケットがたくさん点在していたり、モールがあつたりと他にも様々なお店は揃っていていい意味でバランスのとれた街だと思います。もし自炊するのであれば、グローバルマーケットが何店かあるのでそこで日本の食材や中国の調味料などが手に入ります。値段が少し高いことは玉に瑕ですが貴重な食材が手に入ります。バスは学生証を提示すれば無料で利用できます。

☆文化や食事について

カナダ人はとてもフレンドリーです。スーパーのレジでは毎回“How are you?”と言われます。日本のいらっしゃいませ感覚でいわれるので、最初は少し戸惑いましたが、慣れました。すごくいい文化だと個人的に思います。驚いた文化はアルコールに関する文化です。カナダは州ごとに法律が違いますが、私の住んでいるプリンスエドワード州では公共でアルコールを飲むことは禁止されています。これに関して興味があつたので個人的に調べてみたのですが、歴史的に禁酒していた時期があり、その名残で今に至っているという説が有力だと考え、先生に話してみたら、先生もあまり理解していない素振りでした。お酒を購入するときは必ず自分の年齢を証明するものの提示を求められます。

秋学期は寮の食事の契約をしていたので、ダイニングホールで毎日食事をとっていました。しかし、あまり私を含めアジア人向けの食事とは言い難いです。向こう側も工夫して中華料理のようなものを出してくださることもしばしばありましたが、結局欧米向けの味になっているため、あの食事が毎日となると正直厳しかったです。春学期は自炊をしようと決意し現在も継続しています。寮から目で見える距離にスーパーマーケットがあるので、そこで食材を買いながらやりくりしています。もし自炊するのであれば調理器具を購入しなければいけないのですが、Royal Bank Canadaの支店の後ろにセカンドハンドショップがあり、そこでかなり安価な価格で調理器具などを購入することができます。

☆留学を通して感じたこと

私は留学を通して最も感じたことは自己主張の必要性です。実は自分では日本の中では自己主張の強い方だと思っていましたが、授業中に他の国籍の人たちと会話するときに自分の自己主張が足りない場面が多くあったと今振り返ります。わからないことや、疑問に思う点、こうした方がいいなどの意見はたとえ間違っていたとしても発言することによって議論が前に進むこともありますし自分にとってもほかのメンバーにとってもプラスだということを学びました。

これに関連して、留学中に銀行、IRO やレジデンスオフィスの方と事務的な話をするときは念を押して確認すべきだということを学びました。というのも私たちは知らず知らずのうちに日本人の常識でものを考えてしまうことがあり、特にこういった事務的な手続きをするときはこちらでは向こう側のミスも多々あります。そういった問題を起こさないためにも事前に確認を念入りにしておくべきだと思います。このように自分に自信があった私ですが、学ぶことはほかにも多くありました。

☆寮について

私は **Blanchard Hall** という寮にルームメイトと住んでいます。UPEI には三つの寮がありますが個人的には私の住んでいる寮が最適だと思います。理由は個人の部屋があることとキッチンがあることです。自分の勉強のしたいときに勉強ができますし、料理もできます。リビングもあるので週末に友人を誘って小規模のパーティーを行えることもできます。寮には **Quite hour** といってこの時間の間は騒いではいけない時間帯があります。テスト期間中はこの時間がかかなり長くなります。しかしながら、中にはこのルールを守らないで騒いでいる方がいます。こういう場合にも寮の一階には勉強できる部屋があるのでそこを利用できます。

☆授業やクラスメートについて

私の専攻は経済学ですが、ビジネスの科目も履修していたことがあります。ビジネス系の科目では必ずと言っていいほどグループプロジェクトがあります。そしてそのグループプロジェクトの評価が成績の約 **20~30%** を占めており、ビジネスの科目に関しては日本の大学よりもグループプロジェクトを重要視しております。その理由は教授によると将来私たちは人と協力して仕事をしていく機会が圧倒的に多いのでこのグループでのタスクが重要だとおっしゃっていました。

経済学のクラスは比較的に日本の授業に近い感じですが、学生の発言力は違います。学生は疑問があるときに授業中でも簡単に質問できますし、教授も喜んで質問に答えてくれています。経済開発理論や環境経済学などを履修しています。評価方法は学期をとうして三回の試験もしくは二回の試験かつペーパーの課題が主流の評価方法だと思われます。従って、継続的な勉強が自動的に学生に求められます。

秋学期は **EAP** のライティングとリーディングのクラスをとっていました。**EAP** の授業をとらなければいけない悔しさはありましたが、どちらも先生のレベルが高くいい内容の授業でした。ライティングは **5** パラグラフエッセイの文の構成をしっかりとマスターするために、先生が生徒一人一人に対して添削を授業外で行ってくれます。少なくとも私の担当の先生はそうでした。ライティングはあるトピックについて自分のアイデアを膨らまして書かなければいけないので、クラスメートと一緒にディスカッションし考え方を鍛える機会もしばしばありました。クラスメートにはシリア出身の学生がいたりして世界で最も関心に強いシリアの内戦の話や移民問題について先生を含め実践的な議論ができ、英語プラス何か大事なことを学べた気がしました。

☆普段の日常生活について

平日は主に授業の予習復習、定期テストの準備のため勉強が中心になります。週末は寮に住んでいるので勉強に余裕のある時は友人を呼んでパーティーを開いています。みんな出身国が異なるので良い国際交流の機会です。時には国際政治や二国間の外交問題的な真面目な話もします。海外の学生は政治に関しても自分の意見をしっかりと持っていますし、話していてとても面白いです。日本人のように政治の話をしていたら、なんやコイツと思われることはありません。日本人として論理的な意見を言えるように自分の意見をまとめておくことは大切です。

☆休日の過ごし方

まとまった休みのある時は、友人と小旅行に行きました。PEIは観光地なので旅行には良い場所ですが、PEIの冬は寒さがかなり厳しいです。旅行に行く場合、冬に入る前に行くことをお勧めします。しかし冬にも冬の楽しみ方があり、大学の横には普段アイスホッケーで使われるスケートリンクがあり、一日のうちの何時間か一般利用者のために開放されます。スケート靴はIROで借りられますし、無料です。また、この小さな島にもスキー場があり、私も一度スキーへ行きました。元々学割がありますが、学生5人以上で行くとさらに割引してくれ、かなりリーズナブルにスキーができます。スキーの板、靴は現地でレンタルできます。

☆留学する人へのアドバイス

私が一番伝えたいことは留学する前にもっと英語を勉強してればよかったなと思ったことです。正直日本にいてもやれることはたくさんあります。個人的な話になりますが、自分の場合はIELTSのスコアのための勉強しかやってこなかったのが、日常の会話のためのリスニングや自分の発音などがよろしくなく留学の初期の段階ではかなり苦労しました。

授業に関しては、レベルはこっちの方が高いと思いますが、ききちゃんと対策をとれば良いスコアは狙えるレベルです。

あと、UPEIは田舎の大学なので都会好きの方にはお勧めできません。静かな落ち着いた環境で勉強に集中したいという方には向いているといえるでしょう。それに加え、シャーロットタウンの人たちは親切でフレンドリーな人が多いので向こうから話しかけられることがしばしばあるのでここはチャンスだと思い、会話を膨らましてみると面白いと思います。

UPEIはジムをはじめ、あらゆるスポーツ施設が整っています。もし、ジムやスイミングプールなどに行く可能性があるのであれば、トレーニング用の服や競泳用の水着があればこちらで買う必要はなくなります。

あとは学生の出身国比率については母数的な問題もありますが中国出身の学生が非常に多いと思います。その他にはカナダは移民政策に寛容な国なので、シリア、ルアンダ、ウガンダ、ソマリアなど過去もしくは現在政治的に不安定だった国出身の学生もいます。日本出身の学生は僕の知っている限りでは右手で数えられる程度しかいませんが、その年によって誤差はあると思います。このようにUPEIは留学生がとても多い大学です。学内では定期的なイベントが開催されているので、そこで様々な国籍の方と話すチャンスは大いにあります。

最後に繰り返しになって申し訳ないのですが、PEIの冬は天候に恵まれないことが多く、雪の影響で学校が休校になる場合があります。その結果、授業が遅れ学期全体のスケジュールが延期される可能性があります。私の聞いたところ、去年は約1~2週間程度、今年は運よく今のところ一日だけの延長になっています。飛行機のチケットは往復で予約するのではなく片道で予約しておくべきだと思います。



Figure 1 大学の入り口



Figure 2 大学内でのイベント



Figure 3 New Student Orientation



Figure 4 1864 年カナダ独立のために開かれたシャーロットタウン会議がある州庁舎の前で



Figure5 School trip